

第一建設株式会社

- 代表取締役社長 市川 照
- 創立 1965年
- 資本金 2000万円
- 静岡市葵区清閑町14-17
- TEL 054-265-2020

「より良く、より早く、より安く、より安全に」をモットーに、施工管理の合理化、工期短縮工事価格の軽減、品質の安定と向上、安全施工対策を行っております。



<http://www.daiichi-inc.co.jp>

企業組合 針谷建築事務所

- 代表理事 所長 鳥居久保
- 創立 1946年
- 出資金 8266万円
- 静岡市駿河区小黒3-6-9
- TEL 054-281-1150

業務内容・建築の企画設計監理／まちづくりへの参加／住宅インテリアの設計監理／環境・造園の企画・設計監理／耐震診断・補強設計／その他コンサルタント業務



<http://www.harigaya.com>

我々が子どもの頃は、会社勤めをするよりも、手に職をつけた方が稼げました。いま、IT業界で30代で1千万円以上の給料を取り、完全週休2日制で休日を楽しんでいる人がいる一方、建設産業で現場に出ている人はなかなか休めない現実があります。IT業界に対抗して、有能な人材を採用しようと思えば、それなりの稼ぎが必要で、それを建設産業全体で考えていかなければなりません。若い人の採用が難しくなるなかで、60代後半の社員には「生涯現役のつもりでいてくれよ」と話しています。自分で仕事をもつて、それを生きがいにするのが一番の健康法になると思います。

法になると思います。

濱崎 当社の場合、お客様の建物を下請けさんに近隣に迷惑を掛けず安全に解体してもらう事が重要で、当社の社員は、現場の管理者が多いです。若い女性が作業着を着て、ヘルメットをかぶって、現場で管理しています。8時頃までは残務整理で帰れない時もあるし、朝も早いので、大丈夫かなと思います。本人たちは明るくやってくれています。そういう人たちに資格を取らせて、一人前に育てることが会社の責務だと思います。

ぜひ当社のホームページを見ていただきたい。若い子たちが当社について、1人でコメントしています。これは自慢できるかなと思います。会社は、それ



三和建商(株)
取締役常務執行役員
濱崎忠雄 さん
社員に資格を取らせて一人前に育てることが会社の責務です。

に伝えていかなければなりません。山本五十六元帥の言葉ですが、「やってみせ、言ってみせ、聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」これが私の信念です。

解体工事は、近隣の皆様に、音、振動、埃などの迷惑を一定期間がまんしてもらい、工事担当者が近所と常に明るくコミュニケーションし、「うーん、しょうがないな」と我慢してもらえよう。な状況をつくるのがポイントです。解体工事は、新しく建物を建てる前の前工事です。前工事でクレーンがつくようなことをやったら、新しく建物を建てるお客様に迷惑をかけてしまいます。だから、神経を使います。その辺をちゃんとやることで、継続して仕事をいただけることになりました。

市川 建設産業は二次下請け、三次下請け、四次下請けといった重層構造で、それを支える技能工の方々の賃金制度が日給月給制の一方で、工事の完全週休2日制の実施は、現実離れしているとも感じます。これを改善しないと、人手不足の解消や技術・技能の継承にネックとなってきます。

20年前、アメリカの建設産業を視察

した時、アメリカの労働者はユニオンに所属していて、毎日同じ人は派遣しないので、最初から説明しなくてはならないことを知りました。日本も、いずれそうなるのかと思いました。

当社も、今年から完全週休2日制に移行しました。公共工事は土曜日に出ると減点です。国の直轄工事は完全週休2日制の労働単価にアップしていただきました。県と市にも労働単価アップを交渉しています。問題は民間工事です。いまの若い人たちは、①休みが多くて、②給料が多くて、③転職がない会社にしからず職しません。

鳥居 今は乾式の工事が多くなつて、手間をかけた施工は敬遠されがちです。修行の果てに手に技術をつけるのではなく、近代は誰もが万能を手に入れ手早く技術を習得できるようになりました。そのため地域固有の技術ではなく、一般的な技術が意味を持つ時代と言えます。設計者としては、それではいけない。歴史の中で培われてきた技術には文化が宿っています。廃れそうな技術を取って使うことで、後世に技術を伝えなければなりません。しかしそこにはコストがかさむジレンマも



企業組合 針谷建築事務所
代表理事・所長
鳥居久保 さん
データが断片的に散らばり恣意性の強い設計に技術の再統合を